

日本小児病理研究会 会報 第49号

2009年10月30日

1. ごあいさつ

総務幹事 横山繁昭

(北海道立子ども総合医療・療育センター)

ここ札幌は早朝10℃を下回る日が多く、紅葉は今週が一番の見頃となっております。関東・近畿は未だ日中は22-3℃を越すと報じられているのに、やはり北海道は緯度が違うと思い知らされます。新型インフルエンザの対応で皆様の病院も大変でしょうが、ここ北海道は寒いせいか猛威をふるい、重症患者はもちろん、「ここは3次病院」と構えていることもできず(断れば袋叩き!)、日曜日には一般患者もみることになりました。病院の使命上、当然でしょうが。

先日の第29回日本小児病理研究会(成育医療センター)では皆様にお会いできて大変嬉しく、且つ勉強もさせて頂きました。盛況で、会長の藤本純一郎先生をはじめ、皆様本当にご苦労様でした。感謝申し上げます。

さて、私こと、この総会において総務幹事を拝命致しまして、なんと言うか身の引き締まる思いでございます。これまでの立派な総務幹事の諸先輩に恥じぬよう、また、会員の皆様には喜んでいただけるよう精一杯頑張る所存でございます。会員数の頭打ち、会費収入減など問題が山積している昨今の状況ではありますが、皆様のお知恵とご協力でなんとか乗り切っていかなければなりません。どうか宜しくお願い致します。

当面のところ来年の病理学会のコンパニオンミーティングなど、宣伝の場もあるので、一般病理学会員が興味を持って沢山集まって頂ける、何か魅力のある企画、アイデア等ございましたら、(切羽詰って申し訳ありませんが)、11月の初旬までに私(sigeaki.yokoyama@pref.hokkaido.lg.jp)又は事務局の松岡先生までお教え下されば幸いです。

2. 第 29 回小児病理研究会報告

平成 20 年度総務幹事 中山雅弘

(大阪府立母子保健総合医療センター)

平成 21 年 9 月 5 日 (土)に藤本純一郎会長(成育医療センター研究所)のお世話により、第 29 回日本小児病理研究会が開催されました。前日には恒例の腫瘍分類委員会症例検討会の後に合同の懇親会が開催され、当日も多数の参加者での活発な議論が交わされ、盛会でした。

本会では、特別講演は、名古屋大学附属病院病理部の中村栄男先生による「WHO 悪性リンパ腫分類第 4 版-主な修正ポイント」で、わかりやすい説明と改訂版作成のポイントや作成にまつわる意見交換など実際に作成に関与されないと聞けない興味深い話を拝聴できました。話題-1 では、成育医療センター研究所発生・分化研究部の清河信敬先生の「小児血液腫瘍の細胞マーカー」、話題-2 では、成育医療センター研究所発生・分化研究部の中島英規先生の「質量分析装置の病理分野への応用」と小児血液腫瘍がテーマとしてとりあげられ、また新しい質量分析による病理学へのアプローチも印象的なご講演でした。一般演題は、8 題あり、多岐にわたってそれぞれ興味深い演題でした。

小児病理研究会に引き続き、第 6 回小児病理セミナーが行われました。小児肝移植をテーマに臨床と病理の立場から、第一人者の講師によるご講演をいただきました。セミナーのみの参加者も多く、美しいハンドアウトが添えられており、成育医療センターの臨床成果やイギリスでの肝移植病理の活動状況など大変参考になりました。

◎ 小児の肝移植

1. 小児肝移植のトピックス

笠原 群生先生 (国立成育医療センター第二専門診療部・移植外科)

2. Role of the pathologist in paediatric liver transplantation

Professor Bernard Portmann (Institute of liver studies, King's College Hospital School of Medicine and Dentistry, London, U.K.)

次年度は、井上健会長により、大阪市立総合医療センターにおいて行われる予定です。テーマ等に関してご意見のある方は、新会長へご連絡ください。来年度も多数の参加をお願いいたします。

3. 幹事選挙報告ならびに平成 21 年度、22 年度幹事

平成 21 年 7 月 17 日成育医療センター病理診断科において中川幹事、事務局松岡、立会人大喜多会員のもと開票作業を行った。

開票結果 投票総数 31、有効投票 29、無効 2

松岡健太郎 17 票、井上健 12 票、横山繁昭 11 票、宮内潤 11 票

平成 21 年度、22 年度幹事は以下の通り。

留任幹事（残り任期 2 年） 岸本宏志、藤本純一郎、北條洋、森川征彦

新任幹事（任期 4 年）松岡健太郎、井上健、横山繁昭、宮内潤

なお、今年度にて任期が終了する幹事は中山雅弘、堀江 弘、田中祐吉、中川温子の各会員。

4. 幹事会・総会（役職は 9 月 5 日のものです）

平成 21 年 9 月 5 日（土）に幹事会ならび総会が開催された。

1) 幹事選挙結果に基づき新幹事が選出された。中山総務幹事より次期総務幹事として横山繁昭幹事が推薦され、全会一致で承認された。監事については中山総務幹事より次期監事(任期 2 年)を小木曾嘉文会員にお願いすることとした。

2) 平成 20 年度会計報告および平成 21 年度予算案について

事務局より下記の報告が、井上監事の監査結果を添えて呈示され、承認された。

3) 第 29 回日本小児病理研究会について

藤本純一郎会長より研究会の状況が報告された。

4) 第 30 回日本小児病理研究会について

井上健副会長（大阪市立総合医療センター）より、大阪市立総合医療センターにおいて平成 22 年 9 月 4 日(土)開催を予定しているとの報告があった。なお、前日の 9 月 3 日(金)には小児腫瘍症例検討会を開催する予定の報告もされた。

5) 次期副学会長選出

第 30 回日本小児病理研究会副学会長として岸本宏志先生（埼玉小児医療センター）が推薦され承認された。

6) 規約について

名称の変更に伴い、平成 21 年 4 月 1 日より、事務局の名称を以下の通り変更する。

細則 4 本会は事務局を、国立成育医療センター臨床検査部病理診断科内（東京都世田谷区大蔵 2-10-1）に置く。

なお、平成 22 年度の独立行政法人化に伴う名称の変更も順次行う。

5. 平成 20 年度決算および平成 21 年度予算案

平成 20 年度会計

平成 21 年度予算

収入の部		収入の部	
会費	315,000 円	会費	300,000 円
前年度繰越金	706,530 円	前年度繰越金	758,907 円
郵便貯金利息	978 円	郵便貯金利息	225 円
寄付（浜崎豊会員）	100,000 円		
小計	1,122,508 円	小計	1,059,132 円
支出の部		支出の部	
第 28 回学術集会補助	300,000 円	第 29 回学術集会補助	300,000 円
事務/通信費	18,110 円	事務/通信費	20,000 円
IPPA 会費	18,431 円	IPPA 会費	22,000 円
会報送料 (45, 46, 47 号)	27,060 円	会報送料 (3 号分)	30,000 円
		ホームページ作成料	53,340 円
		第 98 回病理学会ハンド アウト	150,000 円
		幹事選挙費用	10,000 円
小計	363,601 円	小計	585,340 円
次年度繰越金	758,907 円	次年度繰越金	473,792 円

6. 新入会員紹介

新たに入会された先生方です。皆様よろしくお願ひいたします。

国立成育医療センター病理診断科	坂田 晃子先生(10月より筑波大学)
	岡松 千都子先生
大阪府立母子保健総合医療センター	橘 真紀子先生
都立駒込病院 病理科	中野 夏子先生
西神戸医療センター	山下 享子先生
信州大学大学院医学系研究科分子病理学分野	中山 淳先生

7. 訃報

平成21年11月15日 小川勝士名誉会員がご逝去されました、謹んで哀悼の意を表するとともに、心よりご冥福をお祈り申し上げます。

8. 事務局より

1) 平成20年度会費納入のお願い

本会規約により、本会会費は年間5,000円となっております。平成20年度会費未納の方は下記振り込み口座へのお振り込みをお願いします。会費について不明の点は事務局 松岡までご連絡ください。

ゆうちょ銀行 【店名】008【店番】008【預金種目】普通預金【口座番号】8661284

2) 地区集会のご案内

第115回関東東海地区小児病理カンファレンス

日時：平成22年2月6日(土)17時半より

場所：国立成育医療センター病院

世話人 中川温子（国立成育医療センター病理診断科）

電話 (03)3416-0181

E mail nakagwa-a@ncchd.go.jp

第62回関西小児病理研究会

日時：平成21年12月26日(土)13時より標本供覧 13時30分より口演開始

場所：大阪市立総合医療センター4F 第2・3会議室

連絡先(世話人)井上 健(大阪市立総合医療センター病理部)

電話 06-6929-1221(内6155)

E mail m1657676@msic.med.osaka-cu.ac.jp

3) 小児がんセミナー (仮称)

平成 22 年 2 月 6 日(土)13 時より国立成育医療センターにて開催します。詳細は後日ホームページに掲載いたしますので、ご覧下さい。

ご所属、ご連絡先の変更および入退会につきましては、E-mail または FAX にて事務局へご連絡ください。日本小児病理研究会会報は年 3 回 (冬、春、秋) 発行し、会員全員に送付しています。また、ホームページにも掲載しています。会報、ホームページを通じて、会員相互の情報交換、連絡を行いたい方は E-mail または FAX にて事務局へご連絡ください。

日本小児病理研究会会報 49 号
平成 21 年 10 月 30 日発行

編集・発行 松岡健太郎

日本小児病理研究会事務局
〒157-8535 東京都世田谷区大蔵 2-10-1
国立成育医療センター臨床検査部病理診断科
TEL (03)3416-0181
FAX (03)5727-2879
E-mail matsuoka-k@ncchd.go.jp

ホームページ : <http://www.ibmd.jp/~jspp/>